

第 7 2 回 中越地区中学校剣道競技大会 兼 第 5 6 回新潟県中学校総合体育大会剣道競技予選会要項

- 1 主 催 新潟県中学校体育連盟 中越地区中学校体育連盟
- 2 主 管 小千谷市中学校体育連盟
- 3 後 援 小千谷市教育委員会 小千谷市スポーツ協会 小千谷市剣道連盟 新潟日報社
- 4 運 営 中越地区中学校体育連盟剣道専門部
- 5 期 日 令和7年6月17日（火）18日（水）21日（土）
- 6 会 場 小千谷市総合体育館
- 7 競技種目 男子・・・団体戦・個人戦
女子・・・団体戦・個人戦
- 8 参加資格 当該校の校長が承認した生徒。もしくは、参加認定が承認された団体に所属する中学生。
(1)団体戦 各団体1チームとする。
(2)個人戦 各団体フリー参加とする。

9 登録人員

- (1)団体戦 監督1 コーチ1 マネージャー1 選手5 補員2（計10名）
- (2)個人戦 監督1 コーチ1 選手1（補員は一切認めない。）

※監督は当該校教員、校長、部活動指導員、承認団体指導者とする。

※コーチは当該校教員、校長、部活動指導員、学校長が認めた者、承認団体指導者とする。なお、学校長が認めた者で教員以外のコーチは、出場校1名以内とし、指導者承認書を申込時に提出することとする。また、同一人物が複数校をコーチすることは認めない。

※マネージャーは当該校教員か生徒とする。

10 競技日程

	第1日目6月17日（火）	第2日目6月18日（水）	第3日目6月21日（土）
役員入場	8：00	8：00	8：00
一般入場	8：30	8：30	9：00
受付	8：30～	8：30～	9：00～
役員代表者会	9：30～	9：30～	10：00～
選手整列	9：55	9：55	10：25
開始式（選手会）	10：00～	10：00～	10：30～
競技開始	10：15	10：15	10：40
	女子個人戦	男子個人戦	女子団体戦決勝まで
	女子団体戦	男子団体戦	男子団体戦決勝まで
終了予定	17：00	17：00	16：00

11 競技規則

- (1) (公財) 全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・細則」及び令和6年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項による。更に、以下を含めた試合・審判の方法とする。

- ① (公財) 全日本剣道連盟「剣道試合・審判・運営要領の手引き」(令和6年9月1日改訂)
- ② 『令和6年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部 審判員共通認識事項』(令和6年4月1日)

12 競技方法

(1) 団体戦

① 試合場

10m×10m。開始線の位置は中心から1.4mとする。

② 試合時間

予選リーグ・決勝トーナメント・県総体出場決定戦ともに3分間3本勝負。勝敗の決しない場合は引き分けとする。

③ 審判

3人制とする。

④ 出場順

選手申込み用紙の順とし、締め切り後の変更は認めない。

⑤ 選手・補員の補充

ア. 申込み後に、けが・病気等で出場できない選手または補員が生じた場合は、その選手・補員の登録を抹消し、新たに補員の補充をすることができる。(理由によっては認められない場合もある。)
その際、選手の変更は補員からとする。代表者会終了後は補充を認めない。

イ. 選手に欠員が生じた場合は、あらかじめ登録された補員をもって補充しなければならない。

ウ. 選手に代わって補員が出場した場合、もとの選手は後に復帰できない。

エ. 上記「ア」により補員を使いきった後に、選手の欠員が生じたとき、その対戦は不戦敗(2本負け)となる。

⑥ 試合方法

ア. 男女とも予選リーグを行い、各リーグの上位2チームを予選通過とする。

イ. 予選通過チームによりあらためて決勝トーナメントを行い、順位を決定する。その際シード制を取り、予選同一リーグのチームは決勝まで対戦しないようにする。

⑦ 勝敗の決定

ア. 予選リーグでは、(a)勝者数・(b)総本数の順で決定するが、いずれも同数の場合は引き分けとする。

イ. 決勝トーナメントでは、(a)勝者数・(b)総本数の順で決定するが、いずれも同数の場合は代表者戦(3分間・1本勝負・勝敗を決するまで行ふ)で決定する。

⑧ 予選通過順位の決定

(a)勝点(勝-1 引分-0.5 負-0)・(b)勝者数・(c)総本数・(d)代表者戦(3分間・1本勝負・

勝敗を決するまで行う) の順で決定する。代表者戦についてはリーグ戦1位もしくは2位のチームが2チームの場合は、任意の代表者による代表者戦を3分間1本勝負で、勝敗が決するまで行う。また、リーグ戦1位もしくは2位チームが3チーム以上の場合は、任意の代表者による代表者戦を3分間3本勝負とし、勝敗の決しない場合は、延長を勝敗の決するまで行う。

(2) 個人戦

① 試合場

団体戦に同じ。

② 試合時間

3分間・3本勝負とし、勝敗の決しない場合は、延長を勝敗の決するまで行う。

③ 審判

団体戦に同じ。

④ 試合方法

トーナメント方式で行う。

13 表彰

男女団体戦・男女個人戦の優勝者にカップ(持ち回り)を贈り、団体戦は3位(ベスト4)、個人戦は5位(ベスト8)まで賞状を授与する。

14 申込み

(1) 大会申込み、参加料については、全体要項のとおりである。

(2) 申込み先

〒949-6436 南魚沼市中 778 - 1 南魚沼市立塩沢中学校内
中越地区中学校剣道競技大会事務局 山本 祐作 宛
TEL025(782)0508 FAX025(782)4731

(3) 申込み書類 ①中越地区中学校剣道競技大会申込みデータ「申込み書」1部

②外部引率者、監督依頼をする場合は「保護者・外部指導者引率報告書」「指導者承認書」

(4) 申込み締切 令和7年5月14日(水) 必着とする。

(5) その他 中越地区剣道大会申込み書の電子データを、5月14日(水)までに、南魚沼市立塩沢中学校 山本祐作 宛 (E-mail jh06-354@minamiuonuma.ed.jp) にメールで送信すること。件名は「地区剣道大会(〇〇中) 申込み」、添付ファイル名は「R7 プログラムデータ用(〇〇中)」とすること。大会の組合せ等は、抽選会終了後、県中体連HPに掲載される。

15 組合せ

中越地区剣道専門部会で団体戦と個人戦を抽選する。

16 県総体出場人数

- (1)団体戦 男女各上位8チーム
- (2)個人戦 男子上位16人、女子上位16人 が県総体に出場できる。

17 県総体申込み

本大会終了後、会場にて県総体出場申込みを受け付ける。申込み用紙等は県中体連 HP からダウンロードして使用すること。出場権を得た場合の引率者・引率生徒数や、宿泊の有無などを決めておくこと。

- (1)申込書 (職印必要)
- (2)参加料 (1人、1000円 ※補員を含む登録選手全員 マネージャーは不要)
- (3)参加料納付書 (金額、領収書部分の宛先などを記入する)
- (4)宿泊申込書 (必要な場合のみ)
- (5)指導者承認書 (必要な場合のみ)

18 新潟県中学校体育連盟申し合わせ事項

(1)試合規則・審判規則・試合運営に関すること

① サポーター (足袋、テーピング、コルセットを含む)

- ・医療上必要と認めた場合に限り使用を認める。使用する場合は届け出た上で使用する。
- ・サポーター等は、肘や膝等に付ける物を足に使用することや、ゴムや革及び滑り止めを底に張った物の使用は禁止する。
- ・指先単独のテーピングは届け出不要とする。
- ・届け出と違う物を使用した場合は、替えさせる。届け出のない場合は、はずさせる。

② 面

- ・面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する。ただし、日常の稽古や練習試合での使用については特に制限を設けない。

③ 竹刀

- ・不正竹刀を使用した場合は、発見した時点でその選手の負けとする。既得本数は認めない。以下の試合は欠員のまま試合をする。(ただし、予選リーグから決勝トーナメントに進んだ時は、補員の出場を認める。)不正竹刀とは、「ビニールやセロテープをまいた竹刀」「異物を挿入した竹刀(異物とは先革のゴム、柄頭のちぎり、鉄片以外の物)」「検印のない竹刀」を指す。
- ・大会当日の竹刀の検量は行わない。各校の責任で手入れ等を行うこと。基準は以下の通り。

	男子	女子
長さ	114cm以下	114cm以下
重さ	440g以上	400g以上
太さ(先端部)	25mm以上	24mm以上
太さ(ちくとう部)	20mm以上	19mm以上

○竹刀先革の先革の長さは50mm以上とする。

○柄革は、滑り止めや模様等のない無地のもので白色とする。

④ 鐙について

- ・革色または白色、直径9 c m以下のものを使用する。それ以外の鐙を使用した場合は、その場で替えさせる。

⑤ 弦について

- ・弦の色は白または黄色が望ましい。

⑥ 剣道具装着について

- ・剣道着、袴への校名や校章の刺繍は、大きさや色を含め華美にならないように配慮する。
- ・面紐の長さは結び目より40 c m以内とし、色は赤系統など華美な色は禁止する。
- ・面乳革の色は黒または紺とし、20 c m以内の長さとする。
- ・目印は、幅5 c m・長さ70 c mのものを着用する。

⑦ 試合場について

- ・役員、審判員、監督、コーチ、マネージャー、選手、補員以外は試合場に入れない。

⑧ 観戦・応援について

- ・団体戦での、先鋒・大将戦は監督・選手ともに選手席で正座をして観戦する。個人戦においての監督も同じとする。
- ・選手交代の際のよけいな動作（握手・胸突き）は禁止する。
- ・試合場内で、円陣でのパフォーマンスや団体での礼の際のパフォーマンスは禁止する。
- ・選手席への時計の持ち込み、サイン等の指示や試合者への声援はしてはならない。応援は拍手のみとする。
- ・試合場内への応援旗、部旗、その他試合に関係の無い物の持ち込みは禁止する。

⑨ 水分補給について

勝敗が決するまで行う代表戦や個人戦の延長戦においては、以下のとおりとする。

試合時間3分	⇒	延長2分	⇒	延長2分	【小休止（深呼吸する程度）】	⇒
	⇒	延長2分	⇒	延長2分	【面を外して休息・給水（5分）】	⇒
	⇒	延長2分	⇒	延長2分	【小休止（深呼吸する程度）】	⇒
	⇒	延長2分	⇒	延長2分	【面を外して休息・給水（5分）】	⇒
	⇒	試合の続く限り繰り返す				

⑩ 監督・コーチの服装について

監督、コーチの服装は白ワイシャツ、グレー（無地）ズボンまたはスカート、エンジのネクタイ、紺の靴下とする。

(2) 特別規定

- ① 出場選手は、下記の要領で布製の名札を着用する。黒または紺地に白文字とし、所属団体名（登録された団体名以外は禁止）・氏名を明記する。着用していない選手の出場を認めない。



←所属団体名を入れる。

←姓（縦書き 白文字）

←同姓がいる場合は名前の頭文字を入れる。

② 化学繊維竹刀の使用を認める。

③ アイガード、ポリカーネイド面の使用を認める。